

2025年9月25日～ 第84回日本癌学会学術総会（金沢）に参加しました

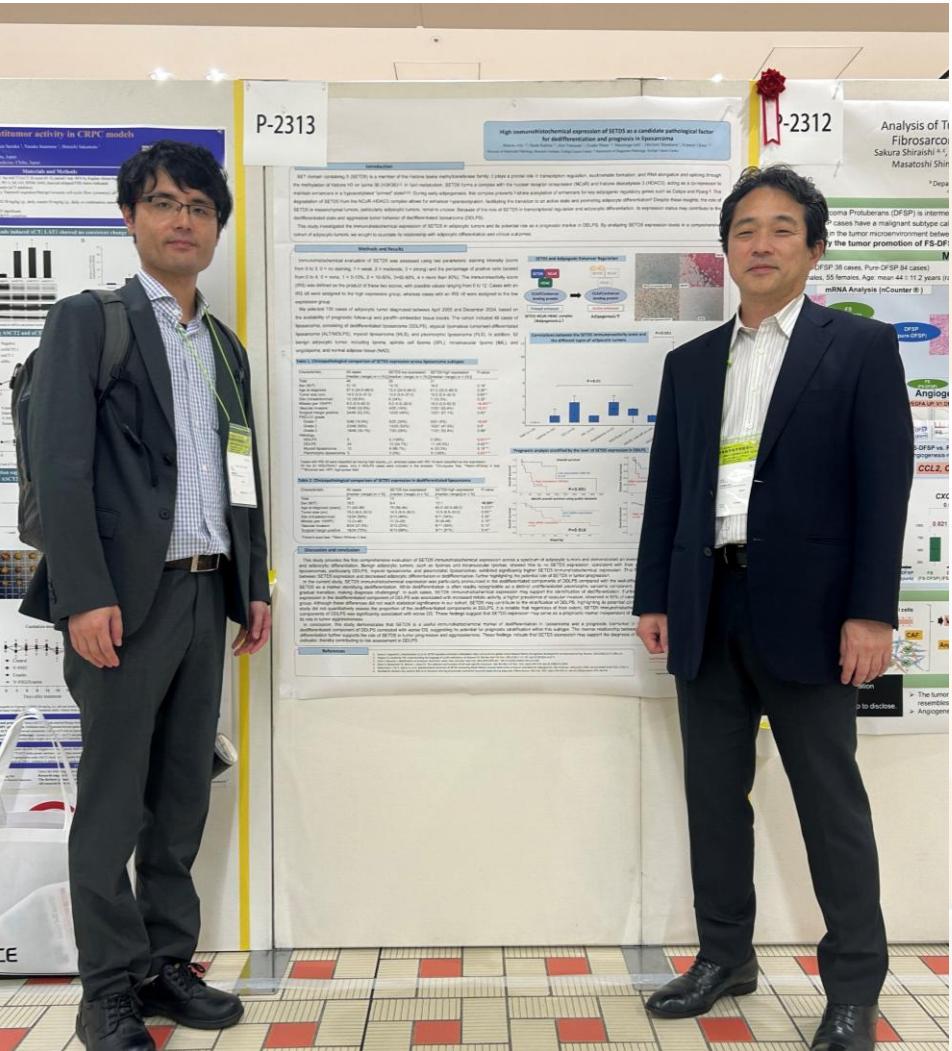


2025年9月25日～ 第84回日本癌学会学術総会（金沢）に参加しました



口演発表では、慶應義塾大学病院病理診断科に帰室した、久保田直人先生が栃木県立がんセンターで行っている肝内胆管癌の研究成果を発表しました。多くの先生から、質問が出ました（右写真）。さらに、他の会場でも、久保田先生の発表に関する問い合わせがあり、反響が大きかったです。学会で発表することで研究の手ごたえを探ることができ、久保田先生も励みになったかと思います。良かったです。（尾島）

2025年9月25日～ 第84回日本癌学会学術総会（金沢）に参加しました



ポスター発表では、白川先生（左）が、忙しい臨床業務の傍らに行なった膵癌の治療効果に関する臨床病理学的研究を発表しました。かなりオリジナリティーがあり、どんどん研究を進めてほしいと思っています。一方、阿部先生（右）は脱分化型脂肪肉腫の予後に関連する新たな分子の臨床病理学的検討を発表しました。近々、論文が受理される予定です。両演題とも、フロアから質問があり、手ごたえがありました。（尾島）

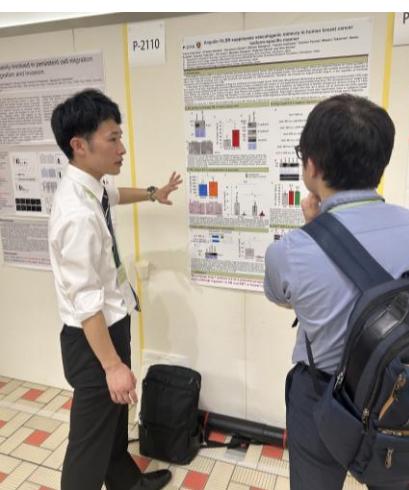
2025年9月25日～ 第84回日本癌学会学術総会（金沢）に参加しました



慶應義塾大学大学院理工学研究科 吉岡 佑馬
先生の論文受理お祝い会

慶應義塾大学 理工学部 応用化学科 清水 史郎
教授と栃木キャンサーバイオバンクの検体を
使用した乳がん診療に寄与する共同研究の成果が
早速論文としてリリースされました。癌学会参
加に合わせて、お祝い会をしました！

Loss of Angulin-1/LSR promotes vasculogenic mimicry and
epithelial–mesenchymal transition in breast cancer
J Biol Chem. 2025 Aug 27;301(10):110635. doi: 10.1016/j.jbc.2025.110635.



質問に応じる吉岡先生

金沢の美味しい食事と共に、研究および研究生活に関する話で盛り上りました。楽しいひと時でした。
奥右から時計回りに、清水 史郎 教授、吉岡 佑馬 先生、川原 遼太 先生（慶應義塾大学 理工学部 応用化学科）。
とにかく、皆さんの研究スピードと発信力には脱帽です。清水先生、若いです！またいつかご一緒に研究できま
すことを心待ちにしております。（尾島）